

# 平成30年度 事業計画

## 基本方針 (理念)

1. 利用者様の権利を保障する。
2. 利用者様の個別支援を充実する。
3. 地域生活への移行を進める。

### 《法人運営》

1. 社会福祉法人制度改革に沿った施設運営を実施する。
2. 地域との交流に努める。
3. 利用者様等からの苦情解決に努め改善や見直しを行う。
4. 事業の効率化を図りコストの削減に努める。
5. 法令を遵守し健全な施設運営に努める。
6. 職員の研修会を積極的に行う。
7. 個人情報保護に努める。
8. 職員の健康管理、福利厚生に努める。

### 《施設運営》

1. 各事業の効率化に努めコストの削減に努める。
2. 施設内研修の充実を図る
3. 強度行動障害のある利用者様に対する適切な支援に努める。
4. 各種研修会に職員を派遣し根拠に基づいた支援に努める。

#### 【生活支援】

利用者様の身体、精神状況に合った個別支援を実施する。  
利用者様の高齢化、重度化に伴いゆとりある支援に努める。

#### 【日中活動】

個別支援計画に基づいた目標に沿って効果的な支援を実施する。  
音楽活動やレクリエーションを通して豊かな生活が送れるようにする。  
入所と通所の日中活動を分け支援の向上を目指す。

#### 【共同生活援助】

利用者様への 個別支援計画(アセスメント)を行い要求・要望を聴取し  
将来の展望を図る。  
利用者様の生活支援や職場での課題解決を支援する。  
利用者様の健康管理や安心、安全な生活が営めるよう支援する。

#### 【就労継続支援】

工賃の維持向上に向けた体制づくりに努める。  
一般就労への支援を図る。

## 平成 30 年度 鳩班日中活動支援計画書 (案)

### ☆利用者様

#### 入所利用者様

安斉健様、橋本昌樹様、宮城直弘様、山本将秀様、柳瀬治基様、  
湯上和也様  
阿部理恵様、佐々木泰子様、高橋里美様、佐藤秀子様、西村由美子様  
蔭 由理様

男 6 名、女 6 名 計 12 名

### ☆職員 (敬称略) 5 名

◎リーダー 菅原敦 ○サブリーダー 高野翔平、伊東隆雅、斉藤美幸、稲船恵理菜  
計 5 名

### ☆支援目標

- ・委託作業、健康活動への取り組みを通して、情緒の安定を図り健康に過ごす。

### ☆支援内容

- ・個別支援計画に基づいて、必要な助言、支援を行いながらサービス提供を行う。
- ・利用者様の心身の状況を把握すると共に特性を理解して支援を行う。
- ・できるだけ体を動かす機会を設け、健康に過ごせるよう支援する。

### ☒ 日中活動内容

- ・委託作業 (平成 30 年度実施予定)

会社名	委託作業内容
上原ネームプレート工業	SPV 貼り、
道新永山販売所	袋折り、ポケットブック差し込み
キョクサン	ウエス切り (H27 年度より)
片桐紙器	き花箱折り
旭川市役務提携	書類封入

- ・健康活動：河川散歩 (夏季間)、作業室内散歩 (冬季～通年)
- ・グループ活動実施 (委託作業の集荷状況などを考慮して実施する予定)
- ・作業室内大掃除 (月 1 回)
- ・一泊旅行

平成 30 年度 ななかまど班日中活動支援計画書（案）

○利用者様

浅沼真伍様 飯田善朗様 及川敦士様 大塚和哉様 小林新様  
宍戸祐一様 田川和也様 中島千博様 向井孝典様 武藤謙次様  
山川崇宏様 大池ゆみ様 木村泰子様 佐竹亜紀様 橋場英里香様  
村上皆子様

計 16 名

○職員（敬称略）

◎下河原雅也 ○船水真理 田中勇紀 松嶋聖樹 高松宏匡  
佐々木秀平 西中義高 大原舞奈

計 8 名

○支援目標

- ・日中活動を通し体力の維持・向上に努める。
- ・作業やレクリエーションを行うことで情緒の安定を図る。
- ・利用者様のニーズや障害特性に合わせ個別支援を行う。

○活動内容

午前は、作業所内運動を中心に天候により屋外運動を検討していく。  
午後は、ウエス切りや空き缶潰し等個々の能力に応じた活動を行って  
いく。またレクリエーションや作業所内清掃行う。

※詳細別添

○その他

月一回のグループ活動と研修旅行を実施予定

## 平成30年度 四つ葉班 日中活動支援計画書(案)

### ☆利用者様 (敬省略)

斧上静夫・吉岡俊一・佐々木幸弘・朝倉春子・荒川富子・氏家和子  
西村笑子・志賀久子・星野八重子・森木美佐子・奥山綾子

11名

### ☆職員

◎後藤周子・○須藤博文・小西貴絵・一野幹子・  
瀧本沙弥乃 (水戸紀子)

6名

### ☆支援目標

高齢の方・健康に不安を抱える方のグループとし、健康維持と心身共に  
健やかに楽しく過ごして頂けるように支援を行う

### ☆支援内容

利用者様のニーズ、個別支援計画に基づいて行う  
個人を尊重し、利用者様の視点に立ち支援する  
レクリエーションで様々な体験を提供し生活の中での楽しみを持って  
もらう

### ☆日中活動内容

(自由活動) 書き取り・パズル・ゲーム・塗り絵・貼り絵・縫工・読書・  
作品作成等

(健康活動) 歩行運動 (室内・屋外)・ラジオ体操・健康体操・リハビリ  
体操・日光浴・レクリエーション等 健康チェック (検温・血圧)  
高齢の方・身体的ハンデを持つ方に合わせた運動への取り組み  
月に一度の作業療法士 (リハビリ「はんど」久世氏) の指導・評価  
階段上り下り運動

### (生活)

地域社会との交流の場を設ける  
レクリエーションや文化活動への参加  
身体的・精神的ケアの充実を図る

### ☆その他

月1回のグループ活動 (外出・外食)・研修旅行

平成 30 年度 ねこやなぎ班日中活動支援計画書 (案)

☆利用者様 (敬称略)

荒谷優、青塚正人、谷地利裕、山田直人、西野佑輔、太田圭亮  
西野まど香、市原美恵、瀬尾恵

計 9 名

☆職員

清水崇天、松嶋真奈美、寺口葉月 (産休中)

計 3 名

☆支援目標

委託作業、健康活動への取り組みを通して、情緒の安定を図り健康に過ごす。

☆活動内容

・委託作業

会社名	委託作業内容
片桐紙器	き花箱折り、新規作業 (H30 年度 5 月～予定)
道新永山販売所	袋折り、ポケットブック差し込み
キョクサン	ウエス切り
浅野商事	ラベンダーポプリ袋詰め
上原ネームプレート	SPV 貼り
旭川市役務提供	書類封入
タキザワベニア	ミラーマット切り (H30 年 4 月～予定)

H29 年度実績含む

- ・健康活動：作業室内歩行
- ・グループ活動実施

☆活動場所

今年度から新コムを作業場所として開放し、利用者様の障がい特性に応じてパーテーションなどを使用して、構造化を行ない環境整備をする。

平成 30 年度 たんぽぽ班日中活動支援計画書 (案)

- ☆利用者様 (敬称略) 丸山浩二 阿部修 遠藤勇士 高野良一  
※佐藤達也 向井健 渋谷司 高正真美  
本田真美子 石金仁美 飯澤亮子 . . . 11 名  
※佐藤様は新年度から他施設に異動の予定あり
- ☆職員 長谷川博久 ○岡音安彦 蓬田美喜子  
森本隆子 小川清 . . . 5 名  
(○リーダー)
- ☆支援目標
- ・ 支援計画に基づき個々の特性に配慮した支援を行う
  - ・ 健康面、安全面に留意し楽しみを持って活動できるように支援を行う
- ☆活動内容
- AM . . . 健康チェック、挨拶  
パズル、ブロック等の知育玩具  
書き取り、計算等のドリル、貼り絵等  
個々の能力に応じた支援を行なっていく
- PM . . . 歯磨き支援  
健康活動  
歩行を中心とし健康維持に努めていく
- ☆その他
- 定期的にグループ活動を行なう  
グループ活動では機能訓練を目的としたレクリエーションを行う

# 平成 30 年度 事業計画書 (案) 上川更生ハイム末広デイセンター

## 就労継続支援B型事業所

就労能力や職業適応能力の向上を目的に、各企業様からの請負作業を中心に活動していきます。「就労継続支援B型事業」の最大の目的は「利用者様への工賃向上」ですが、当事業所は高水準を支給できています（一ヶ月平均 41,000 円 同事業全道平均 18,000 円）。平成 30 年度も事業所の強みとして、少しでも多くの工賃を支給できるよう努めて参りたいと思います。

平成 29 年度は 2 名の利用者様が一般企業へ就労移行いたしました。就職への意向を持った利用者様には、就労移行ができるよう指導・支援していきます。

- 事業所職員・管理者兼カーブス管理責任者 松田 毅 (支援係長)
- ・生活支援員 星 佳代子 (支援副主任)
- ・職業指導員 (3名) 小林 剛士, 齊藤 俊一, 高貝 明日香
- ・目標工賃達成指導員 瀧田 修一

### ■ 在籍利用者様推移予定 (定員 20 名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
22名	21名	21名	21名	21名	21名	21名	22名	22名	22名	22名	22名

\* 5～10月は季節労働利用者様の関係より減員になります

\* 在籍者数は定員を上回っておりますが、実利用率によって受け入れは可能なので継続して募集していきます

### ■ 事業所予定

活動内容	予定 (月)	場所	担当者
道北施設協ソフトボール大会	6月	鷹栖町	小林・星
親睦バーベキュー	6月	末広デイ駐車場	齊藤・瀧田
道北施設協パークゴルフ大会	7月	江丹別	齊藤・星
避難訓練・防災訓練	7月	末広デイ	松田
研修旅行 (1泊)	9月	道内	星・高貝・松田
忘年会	12月	市内飲食店	小林
虐待防止 事業所内研修	2月	末広デイ	年度内権利擁護研修受講者
避難訓練・防災訓練	3月	末広デイ	松田
事業所内研修 (受講研修報告会)	3月	末広デイ	年度内研修受講者

## 平成28年度工賃実績状況（速報値）

### 1 対象事業所（道内）

- (1) 就労継続支援A型事業所
- (2) 就労継続支援B型事業所

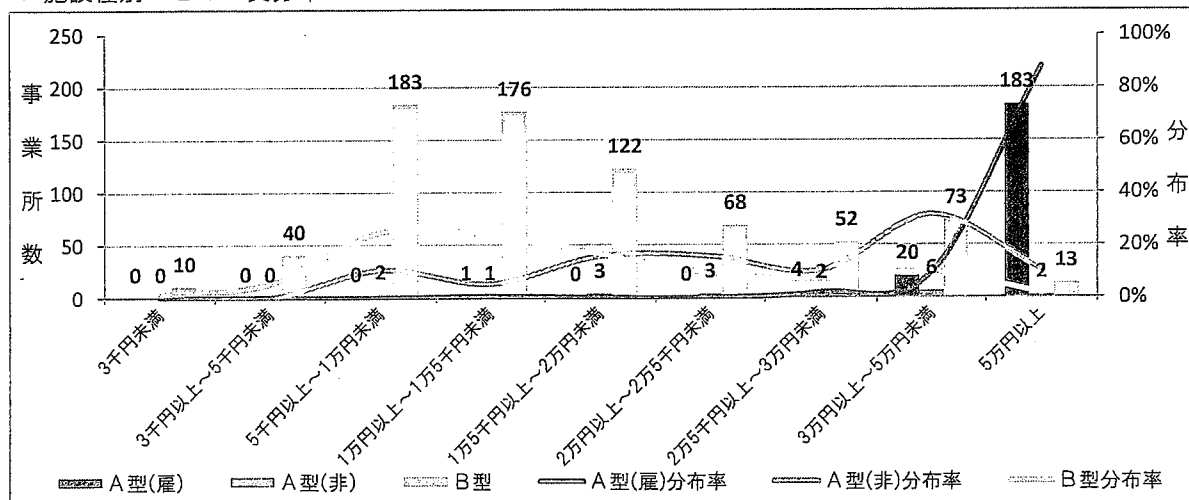
### 2 対象となる工賃（賃金）の範囲

工賃、賃金、給与、手当、賞與其他名称を問わず、事業者が利用者に支払うすべてのもの。

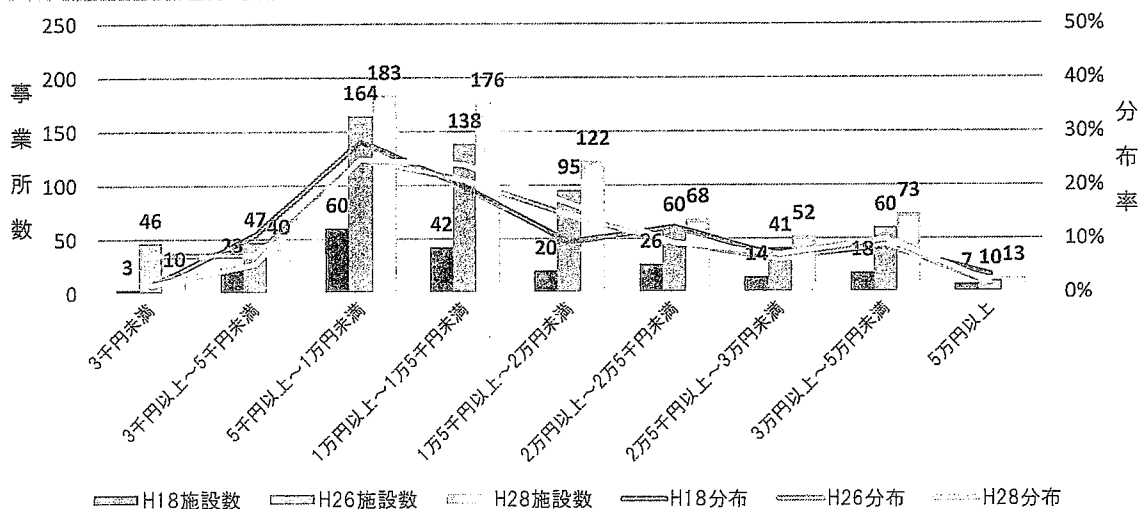
### 3 施設種別

施設種別	施設数	定員	工賃支払対象者 延べ人数 A	工賃支払総額（円） B	平均工賃/月 B/A
就労継続支援A型	210	3,964	44,385	3,014,219,327	67,911
A型（雇用型利用者分）	(208)	—	(43,753)	(2,995,741,018)	(68,469)
A型（非雇用型利用者分）	(19)	—	(632)	(18,478,309)	(29,238)
就労継続支援B型	738	15,745	183,777	3,347,156,960	18,213
計	948	19,709	228,162	6,361,376,287	27,881

### 4 施設種別ごとの工賃分布



### 5 就労継続支援B型事業所の平均工賃分布（年度比較）





平成 30 年度 グループホーム 事業計画(案)

《支援目標》

- ・地域生活の中で“楽しみ”を持って生活して頂けるよう支援する。
- ・現在の就労が継続できるよう健康的に生活して頂けるよう支援する。
- ・個別支援計画に基づいた支援(日常生活全般)。

《新規事業計画》

- ・第 2 豊聖寮が賃貸から法人所有の物件に移転し新しい住居での生活となる。
- ・グループホーム建設に向けて、JKA の補助申請を行う。
- ・土地購入(補助申請が通った場合、グループホーム建設予定地)

《支援内容》

(日常生活に関する事)

帰省や利用者間トラブルの対応、整容全般、余暇支援、買物同行、保護者様対応、他

(就労に関する事)

会社との連携調整、欠勤者・早退者の対応、職場開拓、通院時休暇対応、他

(食事提供に関する事)

朝・夕の食事の提供、昼食のお弁当対応、休日時の食事対応、他

(健康に関する事)

通院同行、服薬確認、健康診断実施、他

(各公的機関・各種手続きに関する事)

障害基礎年金申請、現況届、療育手帳再交付、道市民税申告、ハローワーク、他

(緊急時対応)

火災、救急病院対応、アルソック対応、他

(その他)

世話人研修の実施

《グループホーム一覧》

グループホーム名(7寮)	住 所	入寮者数(30名)	世話人
豊聖寮	旭川市豊岡 2 条 8 丁目 9-8	4 名	1 名
ルピナス	旭川市豊岡 2 条 5 丁目 5-10	5 名	1 名
ゆたか寮	旭川市豊岡 2 条 5 丁目 8-24	4 名	1 名
第 2 豊聖寮	旭川市豊岡 1 条 9 丁目 1-5	5 名	1 名
アルバ	旭川市東旭川南 1 条 3 丁目 1-8	4 名	1 名
ばるむ	旭川市東光 2 条 4 丁目 4-6	4 名	1 名
ハーモニー	旭川市東光 2 条 3 丁目 4-20	4 名	1 名

## 《現況》

- ・高齢化が進んでおり 1/4 以上が 55 歳以上。  
今後、日中支援、夜間の支援も視野に入れなければならない。
- ・世話人の高齢化が進んでいるが勤務時間が特殊なため人が集まらない。
- ・年齢と共に体重増加、コレステロール値高、通院等が多くなってきており、健康管理が大きな課題といえる。
- ・寮と職場の往復の生活で、買い物も休日の食事のみという寮に閉じこもりがちな利用者様が多く、“楽しみ”を見い出せない利用者様が目立つ事から平成 29 年度より「市内の障害者イベント参加」「グループホーム独自の余暇支援」をしている。
- ・建物の老朽化が進みほとんどの寮が築 35 年を超えていて建物の修繕が増えている。  
蟻の大量発生、寒さ、暑さ、雨漏り、給湯器故障、ストーブ故障など大家さんに修繕をお願いしても難色を示すケースもある。
- ・昨年度の札幌での火災を受けて消防法が厳しくなる事が予想されるが、現状では火災予防としての設備が十分とは言えず、今後設備の見直しが必要となる。

## 《今後の展望として》

- ・『閉じこもり』『肥満傾向』が目立つが、こちらから外出や運動の機会を作る事が少なかった。今年度は『余暇の楽しみ』『運動』『他利用者様との交流』を目的とした催しを定期的に行う。
- ・建物について、消防法が厳しくなった時スプリンクラーの取り付け可否で難色を示す大家さんがほとんどと思われ、状況に合わせて対応していくためには賃貸よりも自己所有の物件の方が対応しやすい。  
今年度は、グループホーム建築の補助申請を行い、通れば建築に向けて進める。

## 《グループホーム建築に向けて》

利用者様の高齢化・重度化に向けて、バリアフリー・消防法に対応した設備・日中支援・夜間支援に対応できるグループホームの建築を予定。公益財団法人(JKA)に補助申請する。

平成 30 年

- 3 月 豊岡 2 条 3 丁目土地取得
- 4～5 月 申請に向けての情報収集
- 6～7 月 申請書作成準備(昨年度の申請書を参考)
- 8 月 補助申請説明会参加(申請にあたり必須)
- 8～9 月 申請書作成、提出

平成 31 年

- 3 月 申請結果 採否通知